

DCM 第 8 版

データ集計ソフト 説明書

はじめに

- DCM 第 8 版 データ集計ソフトは、マイクロソフト社のエクセルをベースに作成されており、BCC と ME 値の基本的なデータ分析ができます。

以下のものが含まれます。

- ・ 個別、グループ WIB 分布図（プロフィール）とグラフ
- ・ 個別、グループ行動カテゴリー分布図（プロフィール）とグラフ
- ・ 個別のデンマーク式グラフ
- ・ 個別、グループ WIB スコアとグラフ

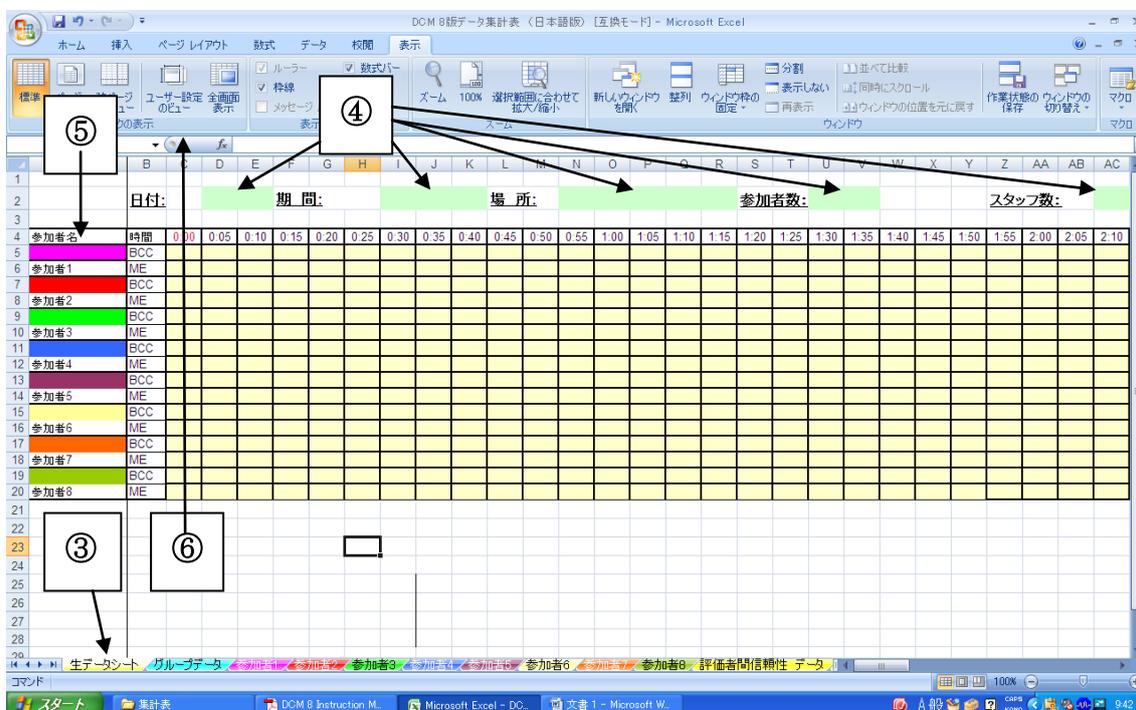
また、本ソフトでは、2 人のマッパーの評価者間信頼性を算出することもできます。

- マッピングデータを集計し、グラフで表すことができますので、マッピング後のスタッフなどへのフィードバックの際に、是非、活用してください。

DCM 第 8 版 データ集計ソフトと説明書の著作権は、英国ブラッドフォード大学が所有しています。無断でコピーして販売することは禁じられています。

データの入力手順について

- ①CD 内のデータ集計ソフトを開いてください。
- ②データを入力する前に、必ず名前を付けて別ファイルに保存してください。
- ③画面下の「生データシート」と書かれたタブをクリックし、生データシートを開きます。
- ④日付、期間、場所、参加者数、スタッフ数、および観察者名を、それぞれ緑色のセルに入力します。
- ⑤参加者名（仮名あるいはイニシャル）を左端の色の付いたセルに入力します。
- ⑥最初の時間枠（C4 赤文字のセル）に、開始時間の終了時（10 時開始なら 10:05）を入力します。その後の時間は、自動的に入力されます。



- ⑦それぞれの参加者の BCC を入力します。
- ⑧それぞれの参加者の ME 値を入力します。

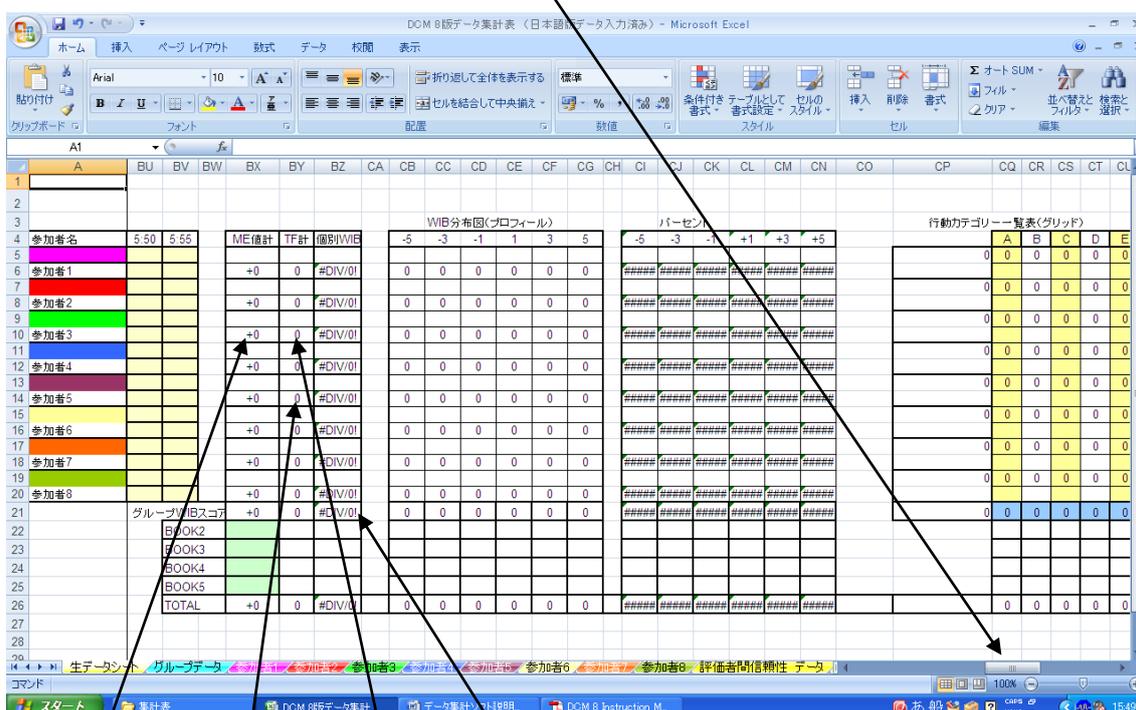
注1：BCC を入力する際には、大文字（A, B, C など）を使用してください。
入力規則により、小文字（a, b, c など）は入力できないので注意してください。

注2：プラスの数字を入力する際には、1, 3, 5 と入力すれば、+1,+3,+5 と表示されます。

マイナスの数字を入力する際には、－記号を付けて－1, －3, －5 と入力する必要があります。

注3：マッパーと参加者の間で、何らかの交流があった場合、本来は生データシートに BCC と ME 値を入力した上でスラッシュを入れ、集計から除外しますが、本ソフトでは、BCC と ME 値を入力せずに空白のままにしておきます。BCC と ME 値を入力すると、たとえスラッシュを付けても自動的に集計に含まれてしまうため、入力しないよう注意してください。

⑨すべてのデータを入力したらスクロールバーを使って画面を右に移動します。

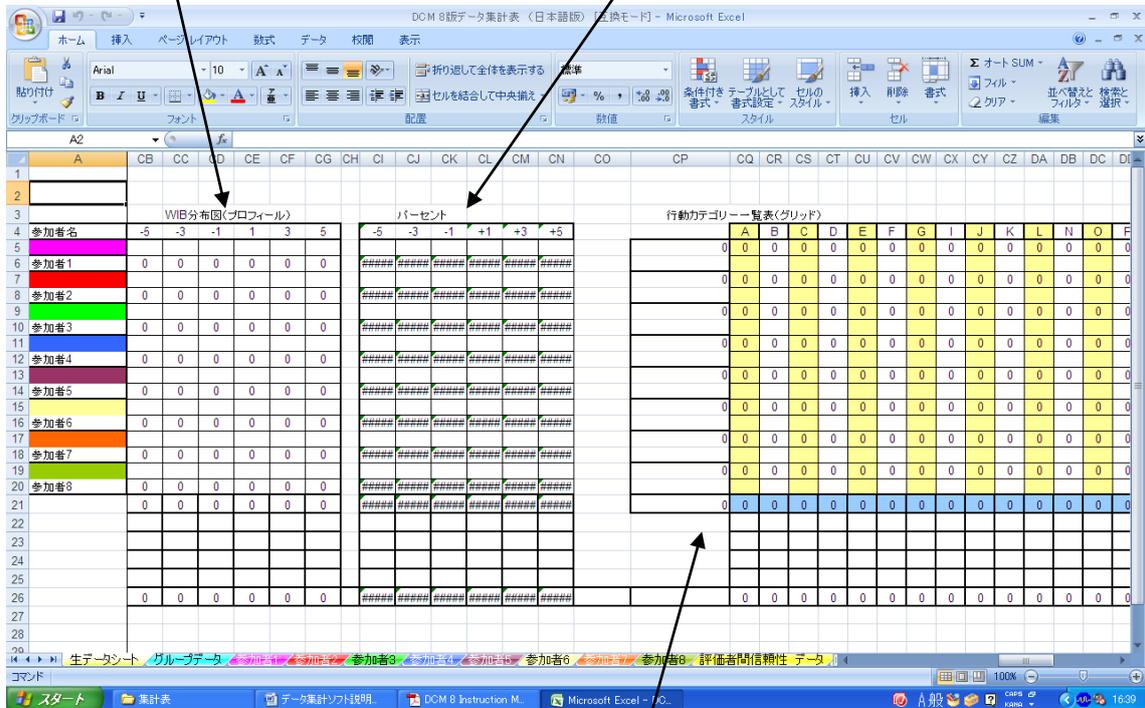


- 1
- 2
- 3
- 4

集計表には、以下の数値が算出されています。

- 1 ME 値の合計（個人の合計と全体の合計）
- 2 時間枠数の合計（個人の合計と全体の合計）
- 3 個別 WIB スコア
- 4 グループ WIB スコア

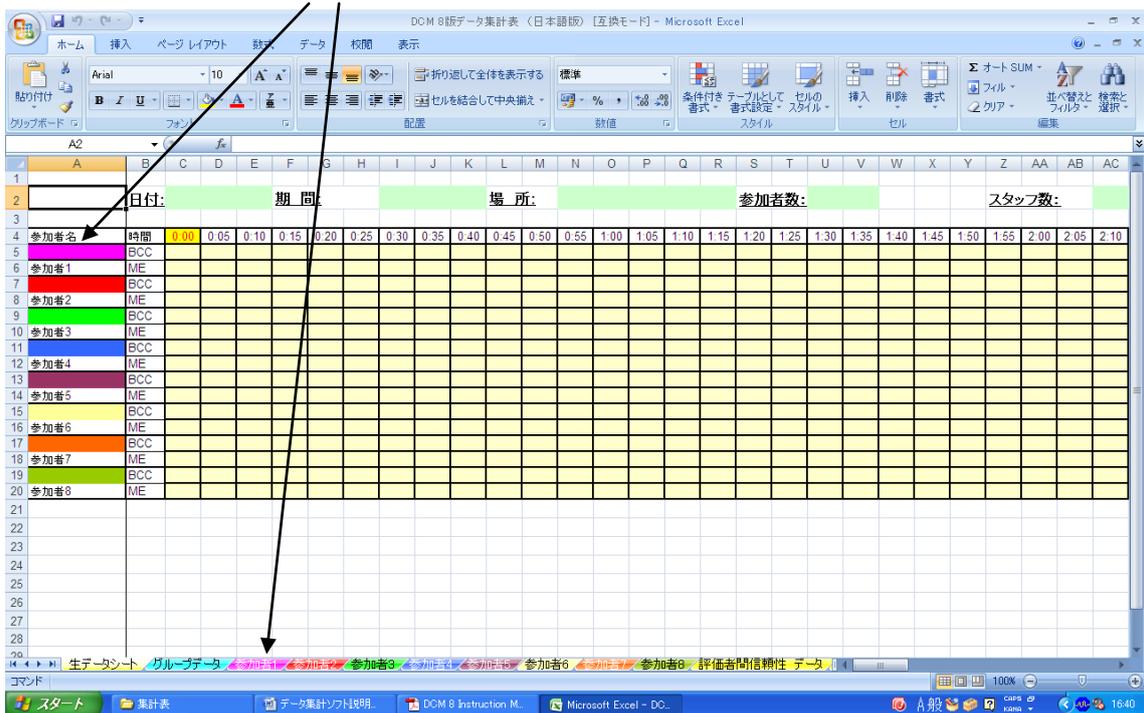
- 右に移動すると、それぞれの ME 値に費やされた時間枠数の集計結果を見ることができます。更に右に移動すると、WIB 分布図（プロフィール）の割合（%）を見ることができます。



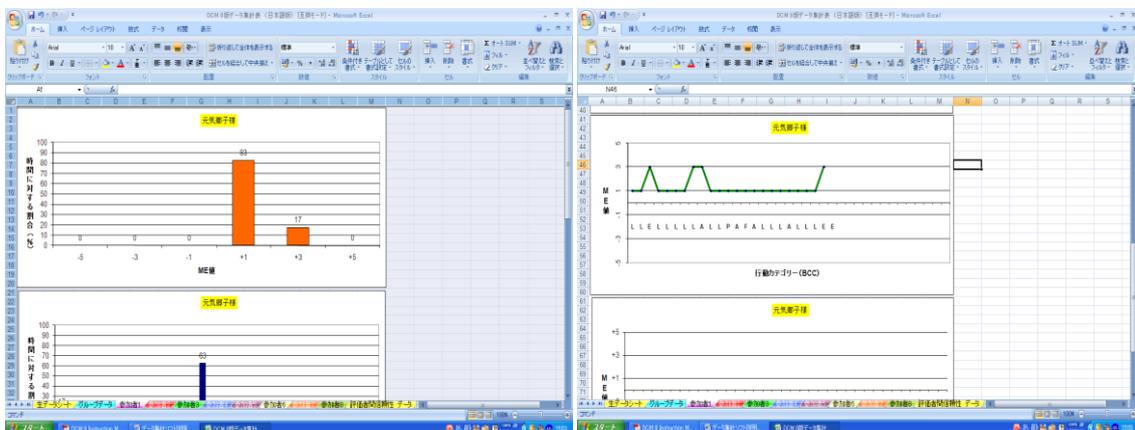
- その右には、グループの行動カテゴリーグリッド（一覧表）があります。更に右に移動すると、それぞれの BCC に費やされた時間枠の割合（%）を見ることができます。

個別とグループのグラフ

- 本ソフトでは、入力したデータをもとに、以下の個人とグループのグラフが自動的に作成されます。
- 画面下の「参加者1」というタブは、生データシートの最初のセル（ピンク）に入力した参加者の個人データを表しています。参加者2以下も同様です。



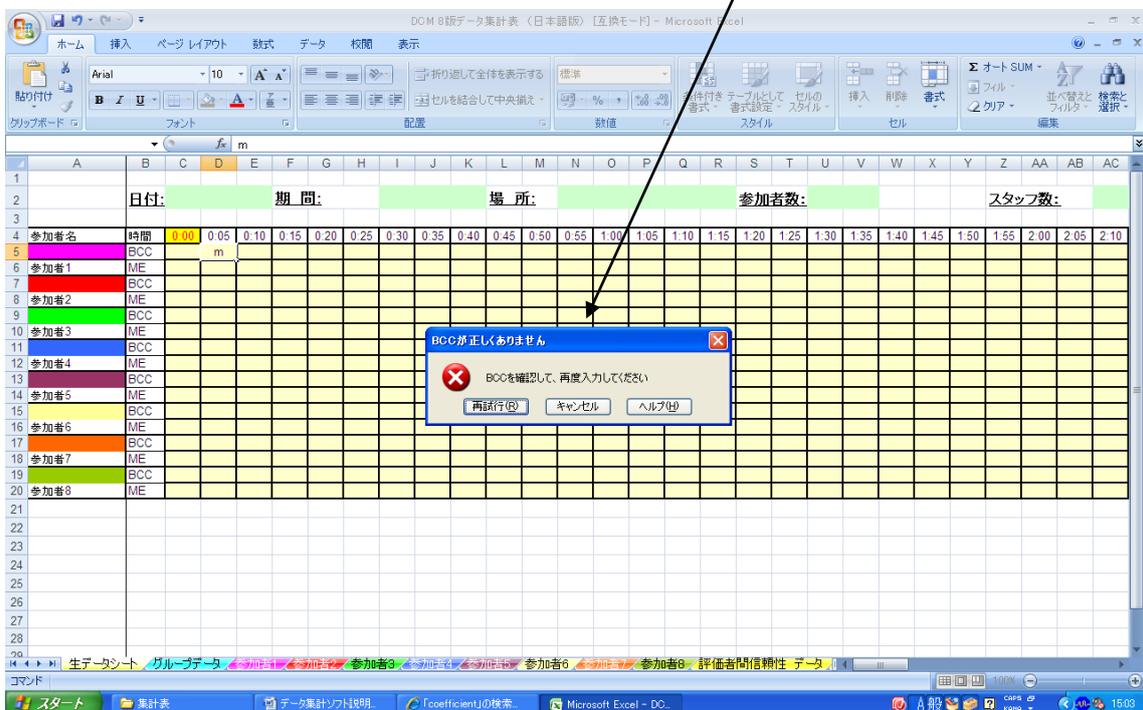
- 参加者1のタブをクリックすると、以下のような個別 WIB 分布図（プロフィール）、個別行動カテゴリー分布図（プロフィール）、個人のデンマーク式グラフが表示されます。



- グループデータというタブをクリックすると、以下のグラフが表示されます。グループ行動カテゴリー分布図（プロフィール）、グループ WIB 分布図（プロフィール）、グループ全員の個別 WIB スコアのグラフ

その他の注意事項

- データを入力する際に、存在しない BCC や ME 値（例：H,M,あるいは+2 など）を入力しようとする、画面にエラーメッセージが出ますので、キャンセルボタンを押して、再入力してください。

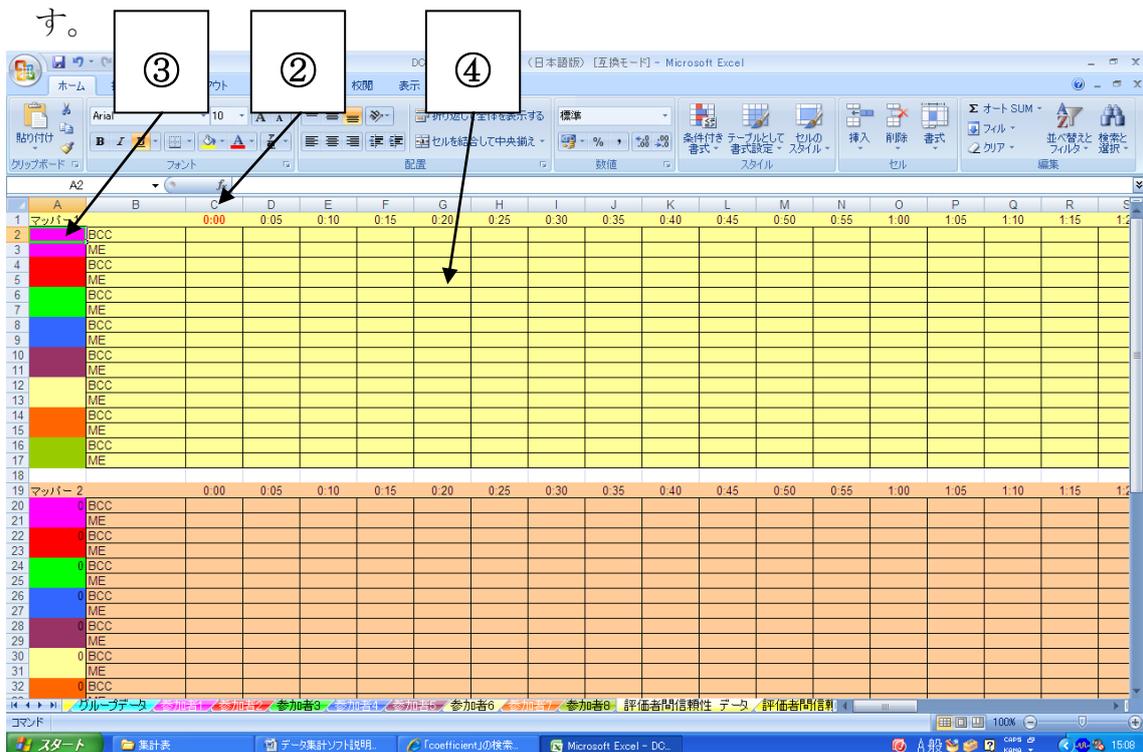


- 本ソフトは、実在しない組み合わせの場合でも（例：C +1, B-1）、エラーだと認識されません。したがって、入力の際には、正しい組み合わせかどうか、よく確認しましょう。
- Q（不在）は認識されません。したがって、不在のQの場合は、空白（ブランク）のままにしておいてください。
- 参加者とマッパーが何らかの交流をもった場合、BCC と ME 値は入力せず、空白（ブランク）のままにしておいてください。

評価者間信頼性について

- 本ソフトでは、2人のマッパー間の評価者間信頼性（一致率）を算出することができます。

- ① 「評価者間信頼性 データ」というタブをクリックしてください。
- ② C1セル（赤文字のセル）に、最初の時間枠の終了時（10時開始なら10:05）を入力してください。マッパー1、マッパー2とも、その後の時間枠は自動的に入力されます。
- ③ 左端の色のついたセルに参加者名を入力します。マッパー1のところに入力すると、自動的にマッパー2のところにも入力されます。
- ④ BCCとME値をマッパー1のセルとマッパー2のセルに入力します。
- ⑤ マッパー2の欄の下に、BCCとME値のそれぞれの一致スコアが示されます。



⑥ 「評価者間信頼性 結果」というタブをクリックしてください。

ここでは、個人とグループの BCC、ME 値における、一致スコアとありうる最高の一致スコアが算出されます。また、百分率 (%) で示される一致率が算出されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		BCCの一致スコア	ありうる最高の一致スコア(BCC)	BCC一致率							
2	0	5	10	50							
3	0	0	0	#DIV/0!							
4	0	0	0	#DIV/0!							
5	0	0	0	#DIV/0!							
6	0	0	0	#DIV/0!							
7	0	0	0	#DIV/0!							
8	0	0	0	#DIV/0!							
9	0	0	0	#DIV/0!							
10	グループ	5	10	50							
11											
12		ME値の一致スコア	ありうる最高の一致スコア(ME)	ME値一致率							
13	0	7	10	70							
14	0	0	0	#DIV/0!							
15	0	0	0	#DIV/0!							
16	0	0	0	#DIV/0!							
17	0	0	0	#DIV/0!							
18	0	0	0	#DIV/0!							
19	0	0	0	#DIV/0!							
20	0	0	0	#DIV/0!							
21	グループ	7	10	70							
22											
23		一致スコア	ありうる最高の一致スコア	一致率							
24	0	12	20	60							
25	0	0	0	#DIV/0!							
26	0	0	0	#DIV/0!							
27	0	0	0	#DIV/0!							
28	0	0	0	#DIV/0!							
29	0	0	0	#DIV/0!							
30	0	0	0	#DIV/0!							
31	0	0	0	#DIV/0!							
32	グループ	12	20	60							